

目標達成計画

作成日: 令和 7年 5月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	運営推進会議内で話し合った内容について玄関に掲示して公表しているものの、家族が事業所に来られる機会が少なく、利用者自身も見られる様子はほぼ無い為、周知が十分ではなく、運営推進会議についての認識も乏しい状況。もっと利用者・家族に会議について認知してもらう必要がある。	運営推進会議について利用者・家族への周知が行え、その内容について関心を持ってもらう。	①会議の様子などを定期的に配布しているお便りに掲載し、利用者・家族に運営推進会議について認知してもらう。 ②関心を示される利用者・家族には話し合った内容について説明等を行う機会を設ける。(直接話す、議事録を配布する・・・等) ※徐々に関心を持ってもらうようにすすめてい	6ヶ月
2	35	火災訓練時には隣の早津江病院とは毎回協力体制の確認を行っており、それとは別に地域施設と相互の協力関係を築いているが、地域住民(例えば地区の消防団等)との協力体制は十分とは言えない。	地域の消防団との連携体制の構築を図る。	①運営推進会議に参加されている地区の自治会長を通して消防団の方との顔づくりを行い、連携を図っていく。 ②火災時等に協力してもらう際に円滑になるよう、地区の消防団の方にこでまりの中を見学してもらい、建物の構造を理解してもらう。	12ヶ月
3	20	事業所内での関係性等に関して配慮・支援は行ったり、行事で地域に出掛けたりすることはあるものの、本人を取り巻く地域の中での関係性について積極的に支援が出来ていない(本人の意思により関係が継続されている方はいるものの)。	利用者の地域との関わりを増やすことが出来る。	①職員が地域との関わるの機会を増やすように努める(まち協等への参加)。 ②地域行事の情報収集を積極的に行う(采井推進会議の活用)。 ③地域行事への参加機会の増加 ④本人の地域での関係性についてのアセスメントを強化する(書式の検討・変更等)	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。